

### ◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課  
〒311-3192  
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080  
☎ 029-292-1111  
メールアドレス  
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

### ◆人口

住民基本台帳  
令和6年1月末現在  
男 15,388人  
女 15,295人  
総人口 30,683人  
世帯数 13,442世帯

### ◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

- ◆町の花 桜
- ◆町の木 梅
- ◆町の鳥 うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合  
防災行政無線テレホンサービス  
☎0800-800-8848  
(通話料無料)

町ホームページにも放送内容を掲載しています。

### ◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ  
<https://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式X（旧ツイッター）  
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式Instagram  
[https://www.instagram.com/townibaraki\\_official/](https://www.instagram.com/townibaraki_official/)



## 里山に育む生きものたち

No.140 コバンソウ  
(イネ目 イネ科)

学名 *Briza maxima* L.

写真・文 安 昌美

▼コバンソウとは  
コバンソウ属の一年草で、草丈は10〜60cm、花期は5〜7月で、小穂が小判のように見える（皆さんは小判に見えるでしょうか?）ところから和名がつけられました。小穂は初め緑褐色ですが、熟すと鮮やかな黄褐色に変化し、小判型になります。花は両性花で、風媒花。種子は風や雨で散布されます。乾燥にも強く、土質を選ばないとされます。

国内では本州・四国・九州に分布し、沿海地によく見られます。現在は内陸部にも知られており、県内では北茨城市から神栖市までの海岸部の道路沿いから、松林のへり、荒地などに群生しているのに出合います。内陸部でも、多くの市町村の路傍や日当たりのよ

い草地に生育しています。茨城町でも、駒場（平成7年6月24日）、蕎麦原（平成29年6月8日）、中石崎（平成30年4月28日）などで記録されています。市街地などは植物の調査をすることが少ないので、現在はさらに各地に広がっていると思えます。見つけるとお金持ちになるのでしょうか。

▼コバンソウの広がり  
コバンソウは地中海沿岸を原産地とする帰化植物です。日本へは明治時代に観賞用として入り、そこから野生化したものが国内に広がったとされています。今でも園芸用に販売されています。県内の記録を広く調べたいわけではありませんが、昭和6年に発表された鶴町猷（はかる）氏の

「茨城県産高等植物目録」には、その名前はありません。昭和31年の、鈴木昌友氏の『茨城県植物目録第1版』にはコバンソウはなく、ヒメコバンソウについて玉造（現在の行方市）での記録があります。昭和56年の鈴木昌友氏他の『茨城県植物誌』には日立市、大洗町、神栖町（現在の神栖市）があります。この記録は証拠本のあるものだけを記録しており、特に園芸品からの帰化植物はあまり標本も作製されない傾向がありますので、実態はより多くなると思えます。

世界を見てみますと、ヨーロッパ、アフリカ、北アメリカの温帯地帯に広く帰化しています。

## ちびっ子アート 大戸幼稚園



さくら組の皆さん



「私たちが田んぼでつくった  
稲わらの花飾り」